

2024(令和6)年2月8日

元寇から750年 ゆかりの自治体でネットワークを形成

ー 鎌倉武士を通じて地域連携と活性化へ ー

【経緯】

市には、鎌倉時代の元寇(蒙古襲来)で、先陣を切り功績を収めた竹崎季長の所領の他、市指定文化財である「竹崎季長の墓」が地元で大切に管理されています。

令和6年は、元寇の1回目である1274年文永の役から750年の節目の年。元寇船の一部などが出土し、国内初の水中遺跡で国史跡となった「鷹島神崎遺跡」がある長崎県松浦市を中心に、鎌倉武士にゆかりのある24自治体で地域連携事業を進めます。

【目的・ねらい】

竹崎季長の活躍を改めて掘り起こし、磨き上げ、地域連携を行う事業を通して、地域の活性化に結び付けます。

1 これまでの動き

- ①各首長級によるキックオフミーティング(オンライン)開催 令和5年9月29日(金)
②松浦市長表敬訪問 令和6年1月10日(水)

2 今後の予定

- ①市指定文化財「竹崎季長絵詞」レプリカ作成
②元寇に関する企画展の開催
③スタンプラリーの実施や元寇カードの作成



市指定文化財
竹崎季長絵詞 (塔福寺所蔵)

問い合わせ 宇城市教育委員会 文化スポーツ課 (課長)米村 (課長補佐)藤川
(担当:文化財世界遺産係)

〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野 85

TEL:0964-32-1954 FAX:0964-32-1137